

「馬印の氷砂糖」の販売につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年は、例年になく寒暖の差が激しく、農作物にも影響がでているようです。氷砂糖の商戦は、いよいよたけなわに入り、本格的な出荷に

向けて、順調に生産を進めています。今回は、4月13日に氷糖組合で和歌山の青梅の生育状況を視察して参りましたので、ご報告申し上げます。梅酒・梅シロップ用氷砂糖の販売の参考にして頂ければと思います。

和歌山の梅の状況

開花は平年よりやや早めの2月中旬から3月初旬でした。開花期間中は低温・降雨の日が多く、ミツバチの活動が鈍く、受粉状況はあまり良くなかったようです。また、3月27日には、低温による霜の被害が発生しました。冷気の停滞しやすい園地において、がくが外れてむき出しの幼果が凍って、低温障害で実が傷つきました。着果状況は、品種・地域・遠地によりバラツキがあり、生育進捗は、現在2~3cmの大きさで、平年より約10日早くなっています。

4月7日の着果調査では、前年比63%、過去6年平均比58%と少なくなっています。ただし、着果数がそのまま収穫量に直結する

ものではなく、今後の気象条件・生理落下程度・果実の肥大状況等によって大きく左右されます。一般的に着果数が少ないと生理落下は少なく、大玉傾向になります。青梅の出荷開始は5月20日頃になると思われます。

収穫量の減少は、梅干の過剰在庫の解消になると思われま。しかし、依然として梅干の需要は先行不透明であり、青梅への依存が高い状況に変わりはありません。JAでは、現段階での収穫量は前年比80%前後と見込んでおりますが、市場出荷分は昨年並みを確保する方向で取り組んでいます。



「和歌山」平成22年4月13日撮影

青梅地区別収穫量(t)

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
和歌山	67,100	69,600	70,100	71,500
群馬	8,340	7,760	7,820	6,340
福井	2,100	2,270	1,420	2,150
奈良	2,940	2,190	2,200	1,760
長野	2,420	2,620	2,600	2,060
徳島	1,160	1,160	1,040	983
山梨	2,400	2,190	2,520	1,850
全国	119,800	120,600	121,000	115,200

氷糖価格のお願い

既にご案内通り、5%の値上げをお願いしております。事情ご理解の程、よろしく御願申し上げます。

また、量販店様売価につきましては、下記にてお願いしておりますので、ご参考にして下さい。

平成22年度一般量販店シーズン売価予想

	平成21年度	平成22年度
ロック	428円~468円	428円~478円
クリスタル	398円~448円	398円~458円



ホームページのご案内

【パソコン用】 <http://www.nakahyo.co.jp/>
【携帯用】 <http://www.nakahyo.co.jp/i/>



弊社ホームページ(パソコン用)にて、南濃梅園の生育状況を二週間毎にお知らせしています。ぜひ一度アクセスして頂き、氷糖販売のご参考に頂ければ幸いです。又、携帯サイトは、お手持ちの携帯電話で、アドレスを直接入力して頂くか、携帯電話のバーコードリーダーでバーコードを読み取ってください。URLの入力なしで、カンタンにアクセスできます。

本年も引き続き梅酒、梅シロップのPRを積極的に行い、消費の拡大につなげていきたいと考えています。何卒、従来にも増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。

以上

「南濃梅園」平成22年4月15日撮影